



公益社団法人日本パークゴルフ協会 支援事業

函館市民町会交流パークゴルフ大会

日本パークゴルフ協会支援事業

主催	函館パークゴルフ協会
共催	道南地区PG協会連合会
後援	公益社団法人日本パークゴルフ協会
日時	令和3年8月22日(日)
場所	函館市 すずらの丘公園パークゴルフ場



この大会は、函館市民が所属する町会単位で競う、パークゴルフ団体対抗戦です。

函館市民の「健康維持」・「競技性」・「町会交流の場」として、パークゴルフを通じて、それぞれ町会に関する情報交換すると共に生涯スポーツとして「誰でもが気軽に参加」でき、また、パークゴルフの普及振興に寄与する目的で開催したものです。

◆大会要項

- ・この大会は、町会の部と協会の部に分かれ、1チーム5人が団体として競い合うものです。
- ・町会の部は、1チームとして町会に居住する市民が5人(内女子1名以上)で構成します。
- ・協会の部は、1チームとして町会に居住する協会員5人(内女子1名以上)で構成します。

今年は、町会の部18団体、協会の部13団体 合計155人の函館市民が参加しました。

小雨模様の天気の中、選手は伸び伸びと「楽しく」・「緊張する競技の特殊性」を味わいながらプレーをしていました。また、競技が終わると、成績のことや町会の話題で盛り上がっていました。

◆運営方法

- ① 今年は、真夏の熱中症及びコロナ感染拡大防止対策を講じた大会運営を計画しました。
- ② 事前に参加チーム責任者との会議を開き、当日の大会運営方法や競技中の熱中症及びコロナ感染拡大防止を徹底するよう呼びかけました。
「開会・閉会式をしない。」「時間差で競技スタートする。」「マスクを着用する。」「ソーシャルディスタンスを確保する。」
- ④ 競技役員は、競技中3密防止が確保されているか見回りをしました。また、受付時に塩飴を配り「熱中症予防対策」を促しました。
- ⑤ 大会本部では、有事の際に安静できる休憩室を確保すると共に救急箱・冷却水を備え付け、必要に応じ施設管理責任者と連携しながら連絡する体制を整えました。



受付状況



会長及び運営役員

◆上位入賞者

★ 町会の部

順位	チーム名
優勝	西旭岡・上湯川町会
準優勝	昭和町会
第3位	陣川町会
第4位	桔梗町会
第5位	東富岡町会 A

★ 協会の部

順位	チーム名
優勝	本通町会
準優勝	美原ファイターズ A
第3位	東深堀町会
第4位	日吉・滝沢町会
第5位	西旭丘・上湯川・高松町会

◆スナップ



◆事業の成果

この大会は、公益社団法人日本パークゴルフ協会の普及活動支援事業です。

- ① 函館市民がパークゴルフを通じて、他の町会との競い合う緊張感チームの協調性の大切さを実感していました。
- ② プレーが終わると、「町会業務の話題」でコミュニケーションを図っておりました。生涯スポーツとして、健康維持・体力づくりに欠かせない「パークゴルフである」と実感しました。
- ③ 熱中症予防対策では「有事を想定し、準備をした」事により、結果的に発症者はませんでした。
- ④ 3密防止を徹底した下準備・競技中の見回り効果が良かったと思います。